

競技注意事項

1. 競技規則について

- ①本大会は、2023年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。
- ②本大会では、スタートを電子音で行う。日本陸上競技連盟規則第162条の5.の（C）により、音声や動作その他の方法（ピク付き動作を含む）で他の競技者を妨害した場合、最初は注意（グリーンカード）に留めるが、繰り返し行う場合は、警告（イエローカード）を与えることがある。最初の警告を受けた後、2回目以降の警告を受けた場合は、その種目は失格とする。ただし、それ以降の競技からの除外は行わない。
- ③シューズ（スパイク、ランニングシューズ含む）の厚さは、800m未満の種目とフィールド種目（三段跳を除く）は20mm以内、800m以上の種目および三段跳は25mm以内とする。また、競歩競技は40mm以内とする。規定外のシューズを使用しての競技参加は認めない。
- ④競技前、競技中、競技後に、競技靴などについて疑義が生じた場合、審判長は点検することができる。

2. 来場について

- ①原則として、有観客で実施し、健康状態に不安がない者の来場に制限を設けない。なお、政府等の発令や会場管理者による制限、感染状況の拡大に基づく主催者の判断によっては、予告なく制限することもある。
- ②会場での行動は、運営方針又は会場系の指示に従うこと。

3. 練習について

- ①本競技場での練習は、開門（8時）からトラック種目及び砲丸投のみとし第1競技開始15分前までとする。
- ②第2競技場での練習は、開門（7時）からトラック種目のみとする。但し、投擲種目は次の通りとし、監督がつかない場合は認めない。
1日目 円盤投 8:00～9:00 3日目 やり投 8:00～9:00 2・4日目 投擲練習なし
投擲練習中は投擲選手以外フィールド内に立ち入ることは出来ない。また、砲丸投は本競技場で行い、ハンマー投は競技開始前の現地のみとする。
- ③練習は本競技場、第2競技場ともに次の通りを行う。
1～2レーン周回練習、3～6レーン短距離・スピード練習、7～8レーンハードル練習
但し、トラックでのジョギング及び集団走は禁止とする。また、状況に応じて変更する場合がある。その際は練習会場系の指示に従うこと。
- ④競技場備え付け以外のトレーニング用具を持ち込んでの練習（特にチューブによる牽引走やメディシンボールの投擲）は原則禁止とする。
- ⑤競技場での練習は選手のみとし、集団練習は禁止とする。
- ⑥第2競技場開門の7時以降は園路での練習を禁止とする。
- ⑦競技開始後、第2競技場でのピストルの使用は禁止する。
- ⑧競技中の本競技場におけるウォーミングアップ対応
 - ・6月3日（土）女子共通100mHから男子共通110mHの競技中のバックストレート
女子共通200mから男子共通200mの競技中の第1コーナー途中～バックストレート途中
 - ・6月4日（日）女子B100mYHから男子A110mJHの競技中のバックストレート
 - ・6月10日（土）男子B100mから男子A100mの競技中のバックストレート
 - ・6月11日（日）女子B100mから女子A100mの競技中のバックストレート
- ⑨競技中の第2競技場におけるウォーミングアップ対応
 - ・練習会場系の指示に従う。
- ⑩雨天練習場は、原則として使用禁止とする。

4. 競技場について

- ①本競技場・第2競技場の競技走路及び助走路は全天候舗装である。スパイクシューズのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。：TR（競技規則）5
- ②スパイクのピンは全天候舗装の競技場で使用できるものとする（土用ピンは使用禁止）。

5. 招集について

- ①招集所は正面玄関前に設ける。
- ②招集開始及び完了時刻は競技開始時刻を基準とし下記のとおりとする。

種 目	招 集 開 始	招 集 完 了
ト ラ ッ ク 種 目	4 0 分 前	3 0 分 前
走高跳・走幅跳・三段跳	7 0 分 前	6 0 分 前
砲丸投・円盤投・ハンマー投・やり投	7 0 分 前	6 0 分 前
棒 高 跳	9 0 分 前	8 0 分 前

③招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものと処理する。

④招集完了後、トラック競技の選手は各ゲートの外で出発係の指示に従い、競技場に入場し、現地で点呼を受ける。また、フィールド競技の選手は競技場への入場を認め、審判の指示に従い公式練習を開始する。また、競技開始前に現地で点呼を受ける。

⑤2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が招集所競技者係に申し出て【同時出場届】を受け取り、必要事項を記入し提出すること。

6. 棄権について

出場種目を棄権する場合は、招集開始時刻までに招集所で配布する【欠場届】を招集所競技者係に提出する。

7. 入退場およびコーチングエリアについて

①メインスタンドおよび芝生スタンドには、正面スタンド裏側および第1ゲート（フィニッシュ地点前方）と第3ゲート（200mスタート地点）から入退場し、競技役員・その時間の競技に出場する選手・補助役員・主催者が許可した者以外はグラウンドには立ち入らない。

②競技者の入退場は次のとおりとする。

300m・400m・800m・1500m・300mH・400mH・3000m S C・Aゾーン使用のフィールド競技
・第1ゲート（フィニッシュ地点前方）を利用し、入退場する。

走幅跳・三段跳

・正面玄関より入退場する。

その他の種目

・第3ゲート（200mスタート地点）から入場し、トラック競技は第1ゲートより退場、フィールド競技は第3ゲートより退場する。スタート地点に戻る場合は、芝生スタンドを通行する。なお、衣類等の輸送は、各チームで行い、スタンドおよび場外を通行する。

③コーチングエリアを6か所設置する。（メインスタンド2カ所・両サイドスタンド1カ所ずつ・バックスタンド2カ所）コーチングエリアへの入場は、該当選手の試技時とし、指示後は速やかに退場すること。コーチングエリア内の居座りは禁止とする。

④更衣室の使用は女子のみとする。更衣室は更衣のみに使用する。

8. アスリートビブスについて

①アスリートビブスは2枚を胸部と背部にそのままの大きさにユニフォームにつける。ただし、跳躍種目の競技者は胸部または背部だけでもよい。

②トラック競技出場者は写真判定用の腰ナンバーカードをパンツ右側後方につける。

9. トラック競技の番組編成について(レーン順・試技順)

トラック競技の組・走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選し、プログラムに示す。

10. 計時について

すべてのトラック競技種目は写真判定（1/100秒）で行う。

11. 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方（天候、その他の条件によって変更する場合もある）

種 目	練 習					
男子共通走高跳	1 m 5 5	1 m 6 0	~ 5 c m	1 m 8 0	1 m 8 3	~ 3 c m
女子共通走高跳	1 m 2 0	1 m 2 5	~ 5 c m	1 m 5 0	1 m 5 3	~ 3 c m
男子 A 棒高跳	3 m 0 0	3 m 2 0	3 m 4 0	3 m 6 0	3 m 8 0	~ 10 c m
男子 B 棒高跳	3 m 0 0	3 m 2 0	3 m 4 0	3 m 6 0	3 m 8 0	~ 10 c m
女子共通棒高跳	2 m 2 0	2 m 3 0	2 m 5 0	2 m 7 0	2 m 9 0	~ 10 c m

12. 棒高跳支柱移動申告について

各競技者は、【支柱移動申請書】を招集所で受け取り、自分の希望する支柱（アップライト）の位置を記入し、公式練習前に担当審判員に提出するか、現地にて担当審判員に申告する。その位置を変更したい場合は、ただちに担当審判員に申し出ること。

13. 競技用具について

競技に使用する用器具は、主催者が用意した物を使用する。ただし、個人所有の棒高跳用ポールは、検査に合格したものに限り使用できる。

14. 制限タイムについて

長距離・競歩種目において競技運営上必要と認めた場合は、特にレース圏外の選手を中止させることがある。ラスト1周が以下のタイムを超えてしまった場合

男子	3000m	1 1 分	5000m	A 1 8 分	B 2 0 分
女子	3000m	1 4 分			
男女	3000mW	2 0 分	5000mW	3 3 分	

15. 競技場の中に商品名のついた衣類・バックを持ち込む場合について

競技場内に、下記規定以外の製造会社・ロゴがついた物品を持ち込むことは、規定に抵触するので慎むこと。

- ①上半身の衣類 製造会社名／ロゴ：1カ所・40cm²まで文字高さは5cm以内
学校名／ロゴ 大きさ制限なしで前後に1つずつまで。
- ②下半身の衣類 製造会社名／ロゴ：1カ所・40cm²まで文字高さは5cm以内
学校名／ロゴ 大きさ制限なしで1つまで。
- ③バック・タオル（ブランケット含む）
製造会社名／ロゴ：1個・最大40cm²まで文字高さは5cm以内
- ④ソックス・帽子・手袋（対になっているものはそれぞれに1つずつ）
製造会社名／ロゴ：1個・最大6cm²まで文字高さは3cm以内

16. 抗議について

TR（競技規則）8による。

17. 補助役員について

- ①競技開始30分前までに第1ゲート（フィニッシュ地点前方）外に集合する。
- ②補助員として競技場に入場する際は配布されたIDカードを身に付けること。

18. 清掃について

- ①自分で出したゴミは持ち帰りを原則とするが、競技終了後各地区で分担されている清掃場所から出たゴミについては分別処理をして所定の場所に捨てること。
- ②各地区常任委員清掃分担箇所（下記の場所を責任を持って清掃すること）
 - ・第1部部 メインスタンド・スタンド裏通路及びトイレ（スタート側）
 - ・第2支部 芝生スタンド・競技場内（走路）
 - ・第3支部 競技場周辺・第2競技場
 - ・第4支部 メインスタンド・スタンド裏通路及びトイレ（フィニッシュ側）
- ◎各清掃場所の確認は全日程において、全常任委員及び執行部で責任を持って行う。
- ◎常任委員は以下の日程で残り、最終確認を行う。
 - ・6月 3日（土） 3支部・4支部常任委員、執行部
 - ・6月 4日（日） 全常任委員、執行部
 - ・6月10日（土） 1支部・2支部常任委員、執行部
 - ・6月11日（日） 全常任委員、執行部

19. 開門について

①本競技場

開門は8時とする。各地区に割り当てられた場所の指定された入場場所から、各校代表者2名以内が入場する。割り当てられた場所への入場終了後は自由とする。 *更衣室は控え場所として使用しない。

- ・第1支部 （場所）スタンド裏100mスタート側 （入場）スタンド裏100mスタート側入口

- ・第2支部 (場所) スタンド裏中央 (入場) スタンド裏中央入口
- ・第3支部 (場所) 駐車場側通路 (入場) 正面玄関前
- ・第4支部 (場所) スタンド裏フィニッシュ側 (入場) スタンド裏フィニッシュ側入口

②その他の場所取り

- ・第2競技場・16号側緑地帯・時計台付近緑地帯・モノレール下緑地帯(以上、テント等設置可)、芝生スタンド(シートのみ)
- ・第2競技場の場所取りを希望する場合は、各週土曜日(6/3・6/10)の6時40分に第2競技場第3コーナー外側付近に2名以内が集合し、役員の指示に従い事前に告知してある順番に入場し控え場所を確保する。その後、来場した学校は空いている場所を利用してよい。各週土曜日にテントなどを設置した場所に翌日までテントの骨組みのみ置いておいてよい。

③諸注意

- ・①②以外の場所取りは禁止とする。
- ・各校のテント、シート等の控え場所は1か所限定とする。
- ・芝生スタンドにはテント、ターフ等の設置をしない。
- ・樹木等にロープを巻き付ける等の傷めるような行動は慎む。
- ・控え場所での三密の回避および消毒を徹底する。

20. その他

- ①競技場の開門は本競技場8時、第2競技場7時とする。
- ②ホームストレート側(本部前からフィニッシュ付近まで)を通行しないこと。
- ③競技会で発生した傷病については主催者側で応急処置をする。医務室はスタンド正面下に置く。
- ④横断幕・のぼりについては、メインスタンド・芝生スタンドともに最上段手すりのみとする。土曜日に設置したものを翌日まで置いておいてよい。
- ⑤各学校の荷物は全て毎日持ち帰ること。競技場内保管はいっさい認めない。但し、テントの骨組みだけは、第2競技場に置いて帰ることができる。
- ⑥貴重品は各自で責任を持って保管し、盗難、紛失等に十分注意すること。
- ⑦今年度、国体実施種目で15位までの入賞者は国体最終選考会への出場資格を得る。
- ⑧今年度の国体では成年男子三段跳、成年女子5000m競歩、成年女子棒高跳において、少年区分からもエントリーができる。但し、国体最終選考会への出場については、指定された期日までに標準記録を突破した者とする。
- ⑨スマートフォン・スマートウォッチ(受信機能のあるもの)・トランシーバー・ビデオカメラ・音楽再生機器等、当該競技場所に持ち込むことは出来ない。
- ⑩競技場内はメインスタンドと芝生スタンドを除き、日傘の使用は禁止とする。但し、フィールド競技のみ天候に応じて認める。
- ⑪3000mSCおよびやり投に出場する選手は、安全のため必ずスパイクシューズを着用すること。
- ⑫三段跳の踏切位置は男子11m、女子9mとする。
- ⑬投てき競技に出場する選手は炭酸マグネシウムを持参することが望ましい。
- ⑭選手の本部への立ち入りを禁止とする。